

2023年12月18日



「がんアライアワード 2023」ゴールド受賞について

名古屋銀行（頭取 藤原 一朝）は、がんを治療しながら働く「がんと就労」問題に取り組む民間プロジェクト「がんアライ部」（代表発起人：功能聡子、岩瀬大輔）が発表した、第6回「がんアライアワード 2023」で昨年に引き続き2年連続でゴールド*を受賞いたしましたのでお知らせします。

当行は、今後ともがん罹患者及びその家族が安心して治療に臨めるよう、寄り添ったケアと就労をサポートする取り組みをすすめてまいります。

※「がんアライアワード 2023」では企業・団体 45 社がエントリーし、うち 21 社がゴールドに選定されました。

記

1. 概要 「がんアライアワード」は、がんを治療しながらいきいきと働くことができる職場や社会の実現に向けた民間団体「がんアライ部」が主催する賞です。なお、団体の名称である「がんアライ部」には、がん罹患者の味方（アライ/ally）であること、がんと共に生きること（アライブ/alive）といった意味が込められています。
2. 当行の受賞理由（がんアライアワード選考委員会コメント）
 - ・パートタイマーを含む希望者に特定のがん検診を会社負担にするなど、雇用形態にとらわれない健康増進支援の取り組みは、多くの企業に参考にしてほしい施策である。
 - ・両立支援コーディネーターを社内に5名整え、「がん治療と就労の両立支援制度ハンドブック」を整えている等社内に向けた取り組みを充実させている。
 - ・取引先企業に対しても健康経営伴走コンサルティングを実施されるなど、社外に向けた貴社ならではの取り組みも進めており、がんアライの輪を着実に広げられている。
3. 当行の取り組み
 - (1) 健康状態や治療について相談できる環境づくり
 - ・保健師を増員し、全従業員面談を実施
 - ・健康保険組合提携の EAP（従業員支援プログラム）では、フリーダイヤルで24時間医師が常駐しており、がんと診断された時の医師の紹介や、セカンドオピニオンの為の医師を案内
 - (2) 就労と治療をサポートする制度
 - ・パートタイマー（35歳以上）にも乳がん・子宮がん検診の提供
 - ・がん又はこれに準ずる疾病罹患者向けに、短時間勤務制度を導入
 - (3) お客様の健康経営のサポート
 - ・中小企業の健康課題に対する伴走支援コンサルティングサービスの提供
 - ・「健康応援スポーツフェスタ」の開催



【がんアライアワード 2023 ゴールド受賞マーク】

以上